

人権週間講演会 心をつなぐ「ひろか和」の集い

「一歩踏み出す勇気」～自分か変われば世界が変わる～

☎生涯学習課 人権・同和教育係 ☎0943-32-0093

パラリンピックメダリストを
迎え、人権週間講演会を開催

12月3日(出)、広川町保健・

福祉センター「はなやぎの里」

3階多目的ホールで、人権週

間講演会「心をつなぐ『ひろ

か和』の集い」を開催しました。

今回は「一歩踏み出す勇気」

～自分が変われば世界が変わ

る～をテーマに開催。講師に

は、東京パラリンピックメダ

リストの浦田理恵さんをお招

きしました。



▲パラリンピックメダリスト
浦田理恵さん

突如襲われた視覚障害

浦田さんは、20歳のとき急激に視力が低下し、網膜色素変性症と診断されました。左目の視力はなく、右目は視野欠損98パーセントで、強いコントラストのものしか判別できません。

26歳のときにゴールボール

と出会い、2008年の北

京パラリンピックに出場以降、

4大会連続で出場。ロンドン

パラリンピック2012で

金メダル、まだ記憶に新しい、

2020年の東京パラリン

ピックでは銅メダルを獲得し

ました。

昨年3月に選手としての活

動を引退。現在は、シニアア

ドバイザーとして後輩の育成

やパラスポーツ普及に尽力さ

れる傍ら、各地で講演会講師

としても活躍されています。

「人は生きてるだけでよか」

世界を相手に活躍された浦田さんも、発症当初は悲観的な考えになっていました。目が見えない事にとらわれ、「できない」「失敗したら格好悪い」「新しいことに挑戦するのが怖い」と感じていたそうです。

突如襲われた視覚障害により、教員の夢を絶たれ失意の底にいたときのことや、そこから立ち直るきっかけとなった周囲の人たちの支えに対する感謝の気持ちについてお話をいただきました。

浦田さんが22歳のとき、初

めてお母さんに視覚障害の事

を打ち明けました。浦田さん

の「母さん、ごめんね」と言

う言葉に対し「できることを

探していこう」というお母さ

んからの前向きな返答。自分

のことをこんなにも思ってく

れている人が近くにいるの

だ、ということに改めて気づ

き「頑張らなくちゃ」という

気持ちが生えたとそうです。

さらに「人は生きてるだけ

でよか」というおばあちゃん

の言葉が、浦田さんに大きな

力を与えてくれました。



▲アイマスクをつけての
ゴールボール体験

意識を変えれば人生が変わる

自身の経験を基に、最後このように語ってくれました。

「『どうせ無理』から『どうすれば良いか?』へ」と思考

多くの皆さまのご参加、ありがとうございました

広川町では、毎年、地域を巡回して、さまざまな人権課題について町民と一緒に考える「住みよい町づくり懇談会」を行っています。

今年度は、9月8日に緑ヶ丘区からスタートし、長延上区、長延下区、吉常区、太原区、11月13日の清楽茶屋区までの6行政区で実施しました。



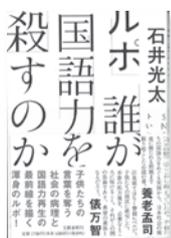
を転換することで意識を変えることが大切です。その結果、行動や習慣が変わり、自分の人生も変わります。
自分の前に広がる道を「白杖」で探りながら歩くことは、人生の歩き方と同じ。先の事は誰にも予想できません。だからこそ、これからの人生を丁寧に味わって歩いていきたいです。

広川町立図書館へ行こう!

〒0943-32-1163 広川町立図書館 ☎0943-32-1163



■今月のおすすめの本



**ルボ誰か
国語力を殺すのか**
石井光太 / 著
文藝春秋



本当にヤバイ統計
江勝弘 / 著
言視舎



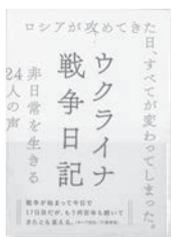
キツネ潰し
エドワード・ブルック
=ヒッチング / 著
日経ナショナルジオグラフィック



精進ごはん
森かおる / 著
東本願寺出版



**ぼくらは、
まだ少し期待している**
木地雅映子 / 著
中央公論新社



ウクライナ戦争日記
Stand With Ukraine Japan / 編
左右社



**カタニア先生は、
キモい生きものに夢中!**
ケネス・カタニア / 著
化学同人



お山のライチョウ
戸塚学 / 写真・文
偕成社



いもうとなんか知らない
ロイス・ダンカン / 作
岩波書店



まよなかのおしっこ
さいとうしのぶ / 作
KADOKAWA

■駄菓子屋くじ気分 de 雑誌付録を GET!

くじを引いてもらい、出てきた番号と同じ番号の雑誌付録をプレゼントします。

- 対象 利用カードを持ち、期間中に本や CD などを10点以上借りた中学生以上(1人1回のみ)
- 期間 2月10日(金)～(なくなり次第終了)

■プチ講座「野菜づくりのコツのコツ」

農山漁村文化協会の佐藤圭さんから、野菜づくりが楽しくなるコツを学びます。

- 日 時 3月1日(水) 14:00～(13:30開場)
- 場 所 町民交流センター「いこっと」2階大研修室
- 定 員 先着40人(参加無料・要予約)
- 申込期間 2月8日(水) 10:00～

■2月のおはなし会【場所・読み手】

- 8日(水) 10:30～11:00 乳幼児向け「かっちゃんこ」
[ハグハグ・絵本コンシェルジュ]
- 11日(土)・19日(日) 10:30～11:00 児童向け
[お話しの森・11日(きらら)、19日(たまたまこ)]

■2月の休館日

- 1日(水)～7日(火) [特別整理期間]・13日(月)・20日(月)・27日(月)
- 毎週(月)・第1(水)が休館、(月)が祝日の場合は翌日以降の直近の平日が休館

やっぱり図書館へ行こう!

vol.35 図書館は生きている!?!⑨

図書館の様子や仕組みをお伝えします

広川町立図書館には、CD約1000点、DVD約2000点を所蔵しています。近隣の図書館の中では最大の所蔵数です。もちろん、ほかの書籍と同じように無料で貸し出しをしていますが、利用者から「CDとDVDの間の棚が暗くてタイトルが見えにくい」という声があったので、さらにLED照明を増やし、以前よりもタイトルが見やすくなりました。子ども向けのDVDも充実している広川町立図書館へぜひおいでください。